

あきる野社協

あいネットあきる野 No.96 2011.11.15

発行

社会福祉法人
あきる野市社会福祉協議会
〒197-0812
あきる野市平沢175-4
秋川ふれあいセンター内
TEL 042-559-6711
FAX 042-559-3561

身近なご近所同士がつながり、絆を深めることができる活動です。

牛沼ふれあい福祉委員会代表 志村洋治さん



サロン活動の様子（志村さんと参加者の方々）

地域の中でボランティア活動をしている、個人・団体合わせて5組の方に活動を始めたきつかけや活動の魅力、これからボランティアをしたいと思っっている方へのメッセージなどを聞きました。

こうして活動を始めました！

ボランティアさんの声

活動のきっかけは、13年前に毎月サロン活動や季節の行事を各委員が訪問し、「声かけ・母をふれあいサロンに送って行ったときに、私が子どもの頃、お世話になった方たちが大勢参加されていたので、自分も何か地域の方のために礼ができればと思います。お手伝いを始めました。活動はただ楽しむだけではなく、行事の案内は直接参加者宅

また、3月に発生した東日本大震災の際は、普段活動に参加されている方が家具の下敷きになって怪我などをしているかと心配になり、20軒ほど訪問をしました。訪問先では「怖かったら、ひとり暮らしなので不安だった。訪問してくれて嬉しい」との声も聞くことができました。震災を契機に、身近な町内に住む人と人がつながりを持ち、協力し合い絆を深めていくことが重要なんだとあらためて気づきました。日頃から顔見知りになり、立ち話ができるような関係作りをすることが、震災などの非常時も「お互いさま」で助け合える関係につながっていくと実感します。

ボランティア活動への入口は様々です。活動を始めると色々なことに気づきます。ボランティア活動は新たな自分を探す作業なのかもしれません。2面に続く

お年寄りや園児さん、たくさんの方と関わることが楽しいです。

あきる野市立西中学校ボランティア部 部長 村上友理さん・副部長 福島和さん



校内活動の一コマ 千羽鶴を作成中

西中学校のボランティア部は週3回活動を行っています。内容としては、主に3種類。まず1つ目が校内での活動です。今日は被災地の中学校へ送る千羽鶴を作っています。2つ目が老人ホームへ行って、入所している人との話し相手や掃除などの活動をしています。3つ目は保育園へ行って園児とのふれあい活動をしています。紙芝居を作って発表することも行いました。

ボランティア部に入ろうと思っただきつかけは、保育園の活動がありました。西中ボランティア部の魅力は、老人ホームや保育園などへ行って、たくさんの方との関わりが持てることだと思います。私たちはこの活動がとても楽しいです。

魅力は、幸せな時間を一緒に過ごせることです。

傾聴ボランティア 毛利恵子さん



やさしいまなざしで利用者の話を聞く毛利さん

傾聴ボランティアとして、週一回、有料老人ホーム『エンジョイあきる野 春の風』で利用者の方のお話し相手をしています。傾聴ボランティアとは、さまざまなお話を「聴く」ことで、話し手の方の気持ちが安定し、穏やかな毎日が過ごせるようお手伝いすることです。

今まで、お年寄りの話を聞く機会が多くあり、お年寄りが好きだったこともあり、社協の傾聴ボランティア養成講座を受けた後、傾聴ボランティアの会『ともしび』のメンバーになりました。今の活動は、週一回から仕事をしながらでもできそうだと思います。

活動を通して、お年寄りにとって「話す」ことは大切だと感じました。お話しをうかがうことで、昔の思い出がよみがえり、きっかけとなったり、利用者の方にとっていい刺激になりました。また自分にとっても勉強になることが多いです。活動の一番の魅力は、お年寄りボランティアが幸せな時間を共有できるところだと思います。

これから活動を始めようとしている方には、お年寄りと一緒に活動を楽しみ、お互いに幸せな時間を過ごしていただけたらと思います。

多くの友人ができ、楽しい時間を共有できるんです。

青年学級すまいる事務局代表 白石光男さん



毎回、顔を合わせるのが楽しみな仲間たち

「青年学級すまいる」は、障がい者の社会教育団体で毎月一回、小学校の体育館や昭和記念公園など様々な場所で活動を行っています。

この活動に参加するきっかけとなったのは、会社勤めをしていて、これからの生き方について考えていた45歳の時、近所に住む友人に誘われたのがきっかけです。

最初は「ボランティアII社会奉仕」という気持ちで活動に参加していましたが、「奉仕」という気持ちよりは友達のように色んな話をしたり、一緒に楽しんだりすることが大事なんだと気づきました。

この活動の魅力は、自分自身が元気をもらえて、そして幅広い年代の友人が増えることで、地域の中で人と人との輪が広がることなんです。学級生が活動を楽しみにしてくれていることも、自分にとって大きな励みになっています。毎回、参加する学級生達と話す、疲れも吹き飛ばします。

この活動を26年続けられたポイントには、あまりボランティアということを意識せず、とにかく自分も楽しんで活動に参加することだと思います。

ボランティア活動を通して自分が変わったことを実感します。

配食ボランティア 清水ゆみ子さん



「今日のお弁当もおいしそうですよ」「本当ですね」

配食ボランティアの活動は、安否の確認を目的に、調理ボランティアさんが作ったお弁当を、障がいをお持ちの方や一人暮らしの高齢の方などのお宅に配達することです。

きっかけは、11年前、子育てをしていた時にふと不安に思ったことがありました。子育て中は子どもを通して社会とつながることができませんが、子育てが終わったら、社会とのつながりがなくなるのではないかと。そんな時、「配食ボランティアをしてみたい」と友人に声をかけられ活動を始めました。

活動をして気付いたこと。1つ目はお弁当が本当においしいので、彩りも良く、作り手の心遣いを感じられるということです。お弁当を届けながら、今日のお弁当の中身のことで利用者さんと話が盛り上がり、良いコミュニケーションが図れます。

2つ目は、利用されている皆さんが、私たち配食ボランティアを待っていてくれて、とても礼儀正しく、その振る舞いに感動します。

ボランティア活動の魅力は、人と人とのつながりです。一見ボランティア活動は「与える活動」と思われがちですが、実は与えながらもらえる活動と言えます。私はお弁当を利用者の方



真心のこもったお弁当

へ運びます。その代わりに利用者の方からは「ありがとうの言葉」や「貴重なお話」「元気」をもらうことができるのです。

この11年間のボランティア活動を通して自分が変わったと実感します。積極的に人と関われるようになりまし、ほかの人に平気で声をかけることができるようになりました。良い意味でおせっかいになったと思います。

これからボランティア活動を始める人に一言ですか・・・。人との出会いや会話を楽しみながら、人との絆を感じてほしいです。そして自分の生活のペースに合わせて無理をしないで長く続けてほしいと思います。

**あなたも始めてみませんか
ボランティア活動に関するお問い合わせは**

あきる野ボランティア・市民活動センター
042-595-9033

第16回福祉バザー報告 皆様のご協力に感謝申し上げます。

売上合計 4,377,286円

五日市会場 2,033,714円

秋川会場 2,343,572円



五日市会場



秋川会場

去る10月16日 五日市会場（南征夫実行委員長）五日市会館、10月23日 秋川会場（渡部好昭実行委員長）秋川ふれあいセンターの両会場において第16回福祉バザーが開催されました。

●地域の皆さんの協力による福祉バザー実行委員会 実施にあたって、町内会・自治会関係者、福祉関係者・団体、ふれあい福祉委員等により、会場ごとに実行委員会が組織され

●誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりのために
福祉バザーの収益金は、南、渡部両実行委員長より社協への寄付金として坂本協会長へ手渡されます。

社協では、高齢者、障がい者、児童など、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを市民の方々と進めるために、ふれあい福祉委員会活動や高齢者・障がい者等への家事援助・移送・食事サービス等の地域福祉事業の貴重な財源として活用させていただきます。

今後もこの福祉バザーに市民の皆様のご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願いたします。

●物品提供にご協力ありがとうございました
福祉バザー前日には、各町内会・自治会の役員や実行委員等によって、集めていただいた心温まる物品が、会場に山のように運び込まれました。その数は、五日市・秋川の両会場あわせて約1万7千点となりました。

そして、市民の皆様から頂いた物品は、多くの実行委員等の手で来場された方々に販売され、両会場あわせて437万円を売上げることができました。

これもひとえに市民の皆様の福祉に対する温かいご理解とご協力の賜物と厚く感謝申し上げます。

障がいのある子どもが高等部を卒業したらどんな暮らしになるのか、子どもも親も不安でいっぱいです。てるぼうずくらぶでは学習会を計画いたしました。

てるぼうずくらぶは支援が必要なお子さんたち（特別支援学校中等部・高等部の生徒）の放課後の余暇の活動や様々な行事を通して少しでも自立が出来るように支援している団体です。

参加の申し込みは必要ありませんので、障がいをお持ちのお子様がいる保護者の方や地域の方、関係団体の方、どうぞお気軽に参加してください。お待ちしています。

▽テーマ「障がいのある子ども

日本赤十字社東京支部あきる野市地区では、10月より災害救援車両として、軽車両1台を配備いたしました。地区における赤十字社地区事務局業務等に使用いたします。

あきる野市内で火災や風水害等が発生した場合に、被災者の方に災害救援物資や毛布等の配布をしております。さらに赤十字の社資募集にかかわるPR活動や奉仕団等のボランティア活動の支援や義援金の受付が赤十字社の地区事務局の業務になります。

あきる野市地区での赤十字社業務をはじめ、日本赤十字社が行う国内外の災害救援活動などの様々な人道的活動は、皆様か

の卒業後のくらし」
▽日時 11月18日 午前10時～12時
▽場所 あきる野市中央公民館 第7研修室

▽講師 あきる野市障害者就労・生活支援センター長 藤間英之氏 あきる野学園OB保護者 田野倉祐子氏、山本京子氏
▽問合せ てるぼうずくらぶ 代表田中 ☎558-6416

この助成事業は社協に登録している団体が市民参加型の事業を企画・主催し、社協が助成をする事業です。皆様のご参加をお待ちしております。

「障がいのある子どもが高等部を卒業したらどんな暮らしになるのか、子どもも親も不安でいっぱいです。てるぼうずくらぶでは学習会を計画いたしました。」
「学習会のお知らせ（社協助成事業）」

らに社資で支えられております。今後も、日本赤十字社の活動にご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願いたします。

▽問合せ 日本赤十字社東京支部あきる野市地区事務局（あきる野市社会福祉協議会内） ☎595-9033



長谷川実行委員長（左）から坂本会長へ

○チャリティゴルフ収益金により福祉車両を寄贈
チャリティゴルフ実行委員会

○地域福祉に貢献するチャリティゴルフにご参加を
次回大会につきましては、平成24年4月9日に東京五日市カントリー倶楽部での開催を予定しています。詳細が決定次第ご案内いたしますので、ぜひご参加ください。

○特別功労及び功労賞表彰者（敬称略）
「特別功労賞（全30回参加）」
鈴木静男
「功労賞（25回以上参加）」
石井作市、藤田キエ子、茂木英幸、長谷川安年、藤田修朗、栗原健治、小原和男、原欣哉、町田朝夫、小林盛利、増澤泰人

「思いやりをあつめて がんばろう日本」
第30回記念あきる野市民チャリティゴルフ大会が開催されました

去る9月5日 立川国際カン トリー倶楽部で「思いやりをあり、社協に今大会では、11台目 つめて がんばろう日本」と題 し、開催された第30回記念あきる野市民チャリティゴルフ大会は、225名の参加により盛会に行われました。

今大会は、30回の記念大会として通算して25回以上参加された方12名に対して、長谷川実行委員長より感謝状が贈呈されました（功労賞表彰者については以下の通り）。また、各賞入賞者の方に、東日本大震災被災地の物産品が賞品として手渡されました。

今後とも、地域の皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

○中古福祉車両を整備し、被災地へ寄贈
また、今回入れ替えとなった福祉車両は、点検・整備をし、9月20日に東日本大震災及び原発事故により、会津若松市に町民や行政等が避難している福島県大熊町社協へ寄贈をいたしました。

障がい者医療費助成(マル障)取扱い治療院・生活保護法指定(医)

アミュー在宅マッサージ(福生店)
アミュー治療院(昭島本店)

保険適用在宅マッサージ取扱

☆お試し在宅マッサージ受付中 (要医師同意)
☆1回300円程度(自己負担1割の方)

福生市北田園1-14-15-202 ☎042-513-7800
(昭島本店:昭島市美堀町4-25-8 昭島駅・拝島駅徒歩P有)
<http://www.amu-life.com/medical/>

マッサージ師がご自宅へ訪問します!

◎医療保険がご利用になれます! お試しマッサージ(無料)です!
自己負担1割の場合...治療費+往療費含み、1回300円~500円程になります

◎寝たきり、歩くのがつらい方(マヒ、関節拘縮、疼痛など)が対象です!
健康で生き生きした生活を送る上で歩行能力は最も大切です。

機能回復、生活向上、維持にマッサージをご利用下さい。

はり灸マッサージ 介護予防運動
おたっしゅサービス 青梅市今井3-31-13
0120-28-8520

あいネットあきる野は、社会福祉協議会が発行する地域福祉の情報紙です。

ふれあい食事サービス 調理ボランティア募集

ふれあい食事サービスは、地域での見守り、ふれあいを目的に、調理から配食まで市民ボランティアにご協力をいただき実施しています。

サービスをご利用いただける方は、あきる野市内の在宅で生活をされている、70歳以上で調理が困難な方などです。利用日は週1回(水曜日又は木曜日)、1食500円です。

皆さんのご協力をお願いします 歳末たすけあい・地域福祉募金運動

歳末たすけあい運動は、共同募金運動の一環として、毎年12月に行う活動です。現在、地域の中には長引く不況に伴う雇用問題や相次ぐ自然災害への不安、障がい者・高齢者の介護などといった、公的サービスや制度だけでは解決されない様々な問題が山積みとなっています。こうした問題を解決していくためには、改めて「地域のつながり」を再生させ、身近な地域で支えあう「地域の福祉力」を高めていくことが求められています。

あきる野市社協では、市民参加の小地域活動(ふれあいのまちづくり事業・ふれあいサロン

社協秋川事務所総務係 595-916711

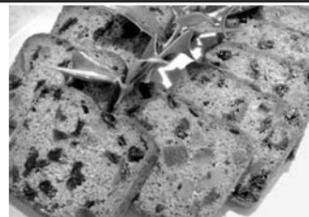
http://hanett.akaihan.or.jp/sys/frame.asp

あきる野市高齢者クラブ連合会 第7回文化展開催のお知らせ

あきる野市高齢者クラブ連合会は、市内に40クラブあり、スポーツや芸術、手芸などの活動が活発に行われています。文化展は会員がこの一年をかけて取り組んだ書画、写真、絵画、手芸品などを展示します。たくさんの方のご来場をお待ちしています。

- 期日 12月2日(金) 午前10時から午後5時 3日(土) 午前10時から午後4時
○会場 あきる野ルピア 4階 展示室
○問合せ 社協五日市事務所総合サービス係 電話595-0818

クリスマスのケーキ作り ふれあい料理教室



毎年ご好評を頂いています、ふれあい食事サービス特別企画「クリスマスケーキ作り」を今年度も開催いたします!!!

※一度参加された方のお申込みはできません。

Table with 2 columns: 講師 (宮本由紀子さん), 日時 (12月13日), 場所 (秋川ふれあいセンター), メニュー (スノーボールクッキー), 対象 (あきる野市に在住・在勤の方), 参加費 (無料), 定員 (24名), 申込み方法 (11月15日)

ふれあい食事サービスのご紹介

ふれあい食事サービスは、ひとり暮らしの高齢者や障がい者等に、週1回お弁当をお届けして、食生活の改善のお手伝いや地域の人とのふれあいをとおして、孤独感を和らげ、生きがいを高めることを目的に活動しています。

秋川流域 ふれあいクリスマス会2011 開催のご案内

あきる野市、日の出町、檜原村の在宅障がい児(者)を対象に、クリスマス会を開催します。楽しい内容を盛りだくさんに用意して、お待ちしております。

- 日時 12月3日(土) 午後3時~5時30分
●場所 秋川ふれあいセンター
●主催 秋川流域ふれあいクリスマス会2011実行委員会
●内容 合唱、音楽演奏、大道芸、サンタとの記念撮影、クリスマスケーキのプレゼントなど
●申込み 下記事務局へ11月18日(金)までに申し込みの上、プレゼント引換券を受け取ってください。
●事務局 社協秋川事務所市民活動推進係 TEL:595-9033

このクリスマス会は、東京都共同募金会の配分金と東京秋川ロータリークラブ、東京秋川ライオンズクラブ、国際ソロプチミストあきる野、あきる野青年会議所及び秋川流域3市町村(あきる野市・日の出町・檜原村)社会福祉協議会の協力と助成金により実施します。

E-メールでもご意見受付中!! info@akiruno-shakyo.or.jp

わたしたちは福祉のまちづくりを応援します

がんばれ! ボランティア

在宅配食サービス!! 介護食 おかずのみ500円... 糖尿病食 おかずのみ720円... 腎臓病食 おかずのみ720円... 宅配クック1・2・3 西多摩店

セレンスホール秋川 0120-297-511 www.dreamy.co.jp 株式会社ドリミー

生前墓をお探しなら... 花と緑の公園墓地 ひので霊園 土地代+墓石代 50.8万円より